

## 年度評価シート

課名 緑地政策課

施設の名称 あさはた緑地交流広場	指定管理者名 一般社団法人 グリーンパークあさはた
1 履行状況	
<p>(1) 管理業務における数値目標 令和5年度のあさはた緑地交流広場の利用者満足度調査 90%以上 令和5年度のあさはた緑地交流広場の利用者満足度調査結果 96.7%</p> <p>(2) 人員配置状況 常に3名以上の職員が常駐し、定期的な接遇研修、危険予知研修が実施され、適切な人員体制が構築されていることを確認した。</p> <p>(3) 施設利用状況 来館者数 38,995名（令和4年度34,973名、令和3年度29,683名）</p> <p>(4) 運営・管理業務 利用者への対応、トラブル対応、施設の維持管理等について、適切に履行されていることを確認した。施設の維持管理においては、1日2回の園内巡回を行い、利用者へのヒアリングを行いつつ、専門的知見から園内の生態系の保全に関するアドバイスを受けるなどし、利用者の利便性と自然環境との共生に努めた。</p> <p>(5) 各種事業・イベント 指定事業、自主事業、各種イベント等について、20種類程度のイベントが適切に履行されていることを確認した。また、計画していた事業以外にも、昨年度から継続していた「ザリガニ釣り」セットの貸し出しを公園利用者へ継続的に実施し、外来種が在来種に与える影響について考える機会を提供した。昨年度のアメリカザリガニ回収数は11,031匹で、ガイドラインに則って冷凍処理の上、粉碎して肥料として活用している。</p> <p><b>【検証・分析等】</b> 指定管理者制度による管理を開始してから3年目になるが、運営、管理業務においては適切に実施されている。 施設の運営業務においては、常に3名以上の職員が常駐し、定期的な接遇研修の実施や毎月1回の定例ミーティング、「KY（危険予知）」研修等を実施し、利用者の満足度、安全の確保に努めた。 施設の管理業務においては、「ミズアオイ」や「カヤネズミ」など、種の存続が危ぶまれている動植物の生態系に配慮し、「選択的除草」による、保全エリアを設けた。 情報発信業務においては、指定管理者が主催する自然環境学習事業について、環境省が募集する「環境教育・ESD実践動画100選」に選定され、国土交通省の募集する「第4回グリーンインフラ大賞」についても「優秀賞」を受賞した。他市町、省庁か</p>	

らの問い合わせ、視察も増加傾向にあり、さらには、フィリピンやスリランカなどの国外から遊水地の先進的な活用事例として視察申し出を受けた。

指定管理者による安定的な運営管理業務が、「あさはた緑地交流広場」の、対外的な評価と認知度の向上に繋がっていると考えられる。

**【確認結果】**

○：協定書の内容が適正に履行されている

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

**【具体的な意見・要望の内容と対応状況】**

（1）トイレの横に設置されたコンクリート排水の角について、子供が歩く際に危険なので、角ばった部分を安全処理してほしい。

→該当する2か所について、盛り土と簡易アスファルトにて対応した。

（2）「餅つき体験会」に参加したが、昔のコメつくりの様子から学ぶことができ、大変勉強になった。スタッフの方々も大変親切で、参加できてよかったと感じた。しかし、「餅つき」について、じゃんけんで勝った人しか体験できなかった。餅つきを体験できるとして参加しただけに、少し残念であった。

→今後、イベントの実施に際しては、参加者の方々にとって意図と異なることが生じないように構成することを徹底した。

**【検証・分析】**

利用者からの意見・要望に対しては概ね適切な対応がとられている。また、日常的な来園者に対しての声掛けや、自治会連合会、各種団体を交えた定例会議を行っており、意見、要望の聞き取りを積極的に行っている点も評価できる。今後も、管理や広報のノウハウの積み上げにより、さらなる利用者サービスの向上が期待できる。

**【確認結果】**

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

**（1）利用者満足度調査**

来園者を対象（全2回、計160人）に、あさはた緑地交流広場において①園内は安全で快適だと思うか？②園内の清掃は行き届いているか？③再度利用したいか（総合満足度の指標として適用）？の質問項目を設け、A（100%）、B（75%）、C（50%）、D（25%）、E（0%）の5段階評価でアンケートを行った。

**【指定管理者調査結果】**

回答者数：160件

①園内は安全で快適か : 95.91%（前年度94.56%）

②園内の清掃は行き届いているか : 95.44%（前年度94.56%）

③あさはた緑地を再度利用したいか：98.74%（前年度98.43%）

【「満足」「やや満足」回答数の集計】

回答者数：160件、「満足」「やや満足」と回答した人数：159人

あさはた緑地を再度利用したいか：99.4%（前年度100%）

【検証・分析等】

指定管理者における満足度調査において、昨年度と同様、総合満足度95%以上に相当する回答を得ており、利用者のニーズに沿った管理運営が継続的に実施されていると確認した。

また、定期のアンケート以外にもイベント毎に参加者へアンケートを実施し、他どのようなイベントの開催を望むかなどの意見調査を行い、可能なものをイベントや運営に反映させた。今後も、さらなる市民（利用者）の満足度向上のため多様なイベントの実施を期待したい。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

【確認結果】

－：未実施

(3) その他の調査

【確認結果】

－：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況は、適正に執行されている。

【検証・分析等】

遺失物法に基づき所有権が失効したおもちゃの貸し出し、データ共有サービスの利用、外灯の季節に応じた点灯時間のこまめな調整、「あさはた緑地サポーター制度」によるボランティア有志を交えた維持管理、イベント運営により、経費の削減に努めた。

主に指定管理事業費、施設の管理費において余剰が生じたが、指定管理者による、本事業の継続的な発展を目指した正規職員の増員により、運営全体としては支出超過がみられる。

なお、指定管理者全体としては、指定管理以外の事業収益を加味することなどにより支出超過分を補っている。

前年度と比較すると、様々な取組により支出超過の額を50%以上縮小しており、今後もさらなる運営経費の削減を期待したい。

**【確認結果】**

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	有

<前年度モニタリング調査における改善協議事項>

郵券受払簿の作成について指示した。以降、随時運用中である。

**【検証・分析等】**

令和5年度の総括的な評価としては、事業計画に基づき業務を的確に実施している。

地元自治会や麻機遊水地保全活用推進協議会所属の各団体とも随時意見交換を行い、良好な関係を築いている。

特筆すべき点として、令和5年度においては「あさはた緑地サポーター制度」の運用を本格的に開始した。これは、公園利用者から多数寄せられていた「ボランティアとして可能な範囲であさはた緑地交流広場の管理運営に携わりたい」という要望について、令和4年度のうちに構想が確立され、令和5年度より本格的に運用が始まったボランティア制度である。「あさはた緑地サポーター制度」登録者は、生態調査、園内の維持管理など作業分野を選択し、協力できる範囲内で活動する。クーポン制度による特典を設けるなどして、現在の登録者は60名で、令和5年度の延べ活動者数は160名である。

「あさはた緑地サポーター制度」は、麻機遊水地ランドデザイン」に基づいた独自の提案であり、地域住民をはじめとした方々の「あさはた緑地交流広場」維持運営への参画体制を整えた点が高く評価できる。

引き続き、指定管理者の多様な経験に基づく独自の強み、ノウハウを生かした施設運営を期待したい。

**【評価結果】**

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。